

# オオコノハズク

## フクロウ目フクロウ科

*Otus lempiji* (Horsfield)

石川県カテゴリー 情報不足

国カテゴリー なし

### 選定理由

山地帯、低山帯に棲む小型猛禽類で、小鳥などを捕食し生態系上位をしめる。県内では過去繁殖報告があるが実態はよく分かっていない。

### 形態

全長約20～25cm。全身ほぼ褐色で、黒い縦斑と横斑がある。頭部には大きな羽角がある。眼の虹彩はオレンジ色。

### 国内分布

留鳥として九州以北の山地帯から低山帯の森林、時には平地林にも生息するが、北海道、東北のものは冬期南下する。

### 県内分布

白山ろくで繁殖の記録があるが、県内の生息状況はよくわかっていない。現在は夏鳥とされているが、留鳥の可能性も残されている。春秋の渡りの時期には平地や市街地でも見られることがある。

### 生態

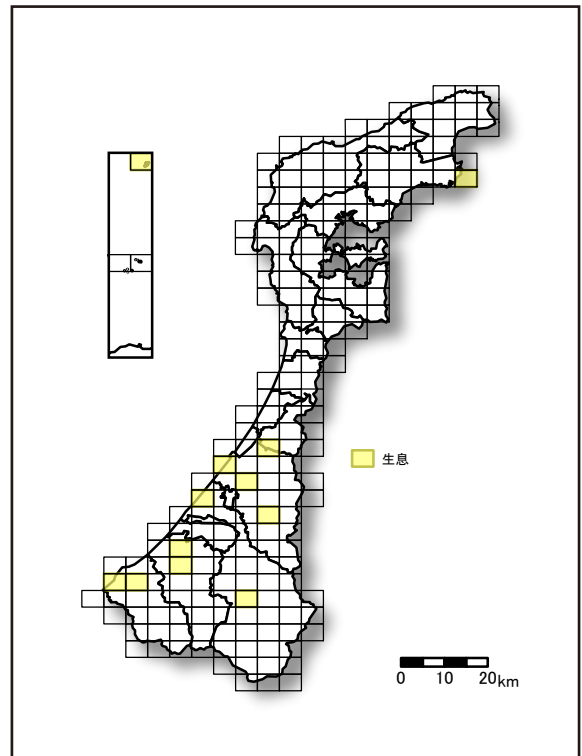
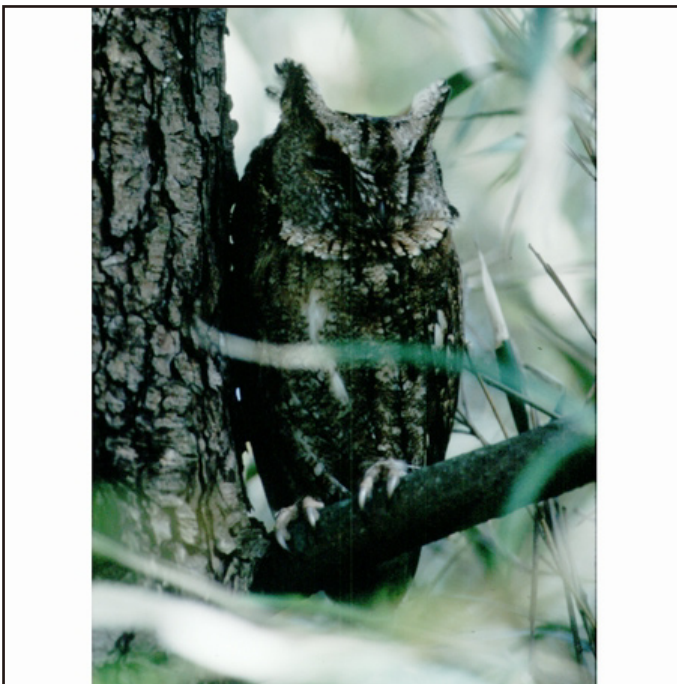
夜行性で小鳥類、両生類、ハ虫類、小哺乳類などを捕る。5～6月に大木の樹洞に営巣し、4～5卵を産む。

### 生息地の条件

営巣木となる樹洞のある大木、餌動物の豊富な森林の存在。

### 生存の危機

森林開発による営巣木の減少が考えられるが、実態はよく分かっていない。(A, D)



県内の分布